

9. 湿原の調査と管理に関する市民参加

提言

湿原の調査と管理に関して、市民参加を図ることにより、湿原や流域に関する認識を高める必要があります。

具体的施策

- ・ 釧路湿原川レンジャーなどによる調査と管理の市民参加
- ・ 自然再生や河川清掃等のボランティア活動に市民が参加できる仕組みづくり
- ・ 湿原の調査と管理に関する情報の共有化

これまでの調査、検討結果

○釧路湿原川レンジャー活動(第7回利用小委員会資料)

・活動内容

(観察活動)

日常において釧路湿原や河川環境について観察し、その内容を連絡して頂くのが川レンジャーの主な活動です。

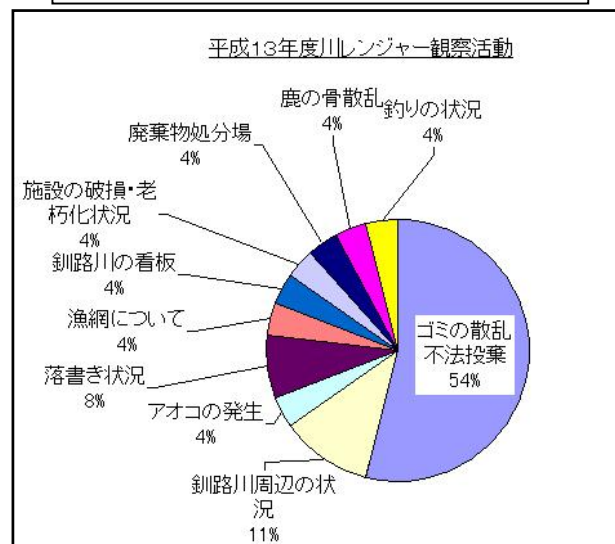
(学習活動)

釧路湿原や河川環境の専門家とともに季節毎の現地観察会と、釧路湿原をより深く学習するための学習会を行います。

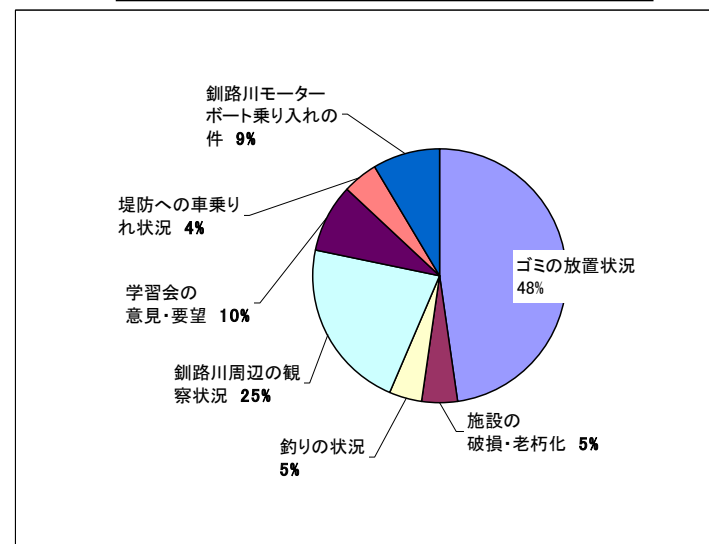


釧路川誤美(ゴミ)拾いの様子

平成13年度川レンジャー観察活動



平成14年度川レンジャー観察活動



これまでの調査、検討結果

○釧路湿原国立公園ボランティアレンジャー〔環境省〕(第7回利用小委員会資料)

・活動内容

- (1) 環境省、北海道、関係市町村等の主催する自然観察会等自然に親しむ諸行事の参加
- (2) 釧路湿原国立公園の美化清掃
- (3) 東北海道地区自然保護事務所が行う調査研究活動の補助的業への協力。
- (4) 公園施設の簡易な維持補修活動。
- (5) 温根内ビジターセンター、塘路湖エコミュージアムセンターの維持管理、運営への協力
- (6) 自然環境状況等、釧路湿原国立公園の管理に係わる情報の提供。
- (7) 会員の資質の向上のための勉強会、講習館の実施。
- (8) その他前条の目的を達成するために必要な活動。



パークボランティア研修会(H14. 6. 24)



フィールドウォッチング(H14. 7. 7)



全国一斉クリーンウォーク(H14. 8. 4)



自然観察会(H14. 10. 20)

これまでの調査、検討結果

○ミレニアムポールの設置(第5回調査技術小委員会資料)



設置日: 2002年3月8日
地盤高: 5.11m(2級基準点測量による)

図1 赤沼地区設置状況



設置日: 2002年3月9日
地盤高: 6.04m(2級基準点測量による)

図2 温根内地区設置状況

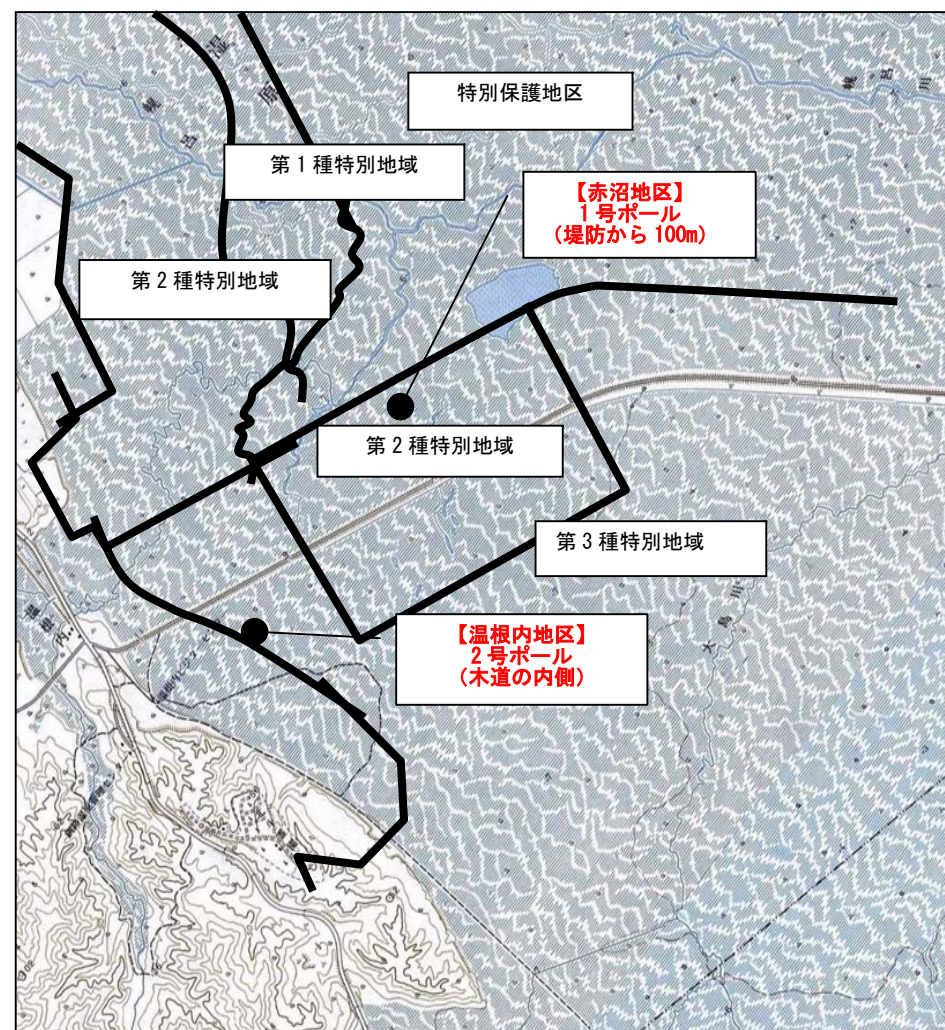


図3 ミレニアムポールの設置位置図

これまでの調査、検討結果

○市民参加と環境教育に関する10の提言

1. 湿原への関心を喚起する
2. 湿原と人との関わりの歴史と今を知る
3. 自然再生の仕組みや動きを広める
4. 情報公開と合意形成を進める
5. 地域・市民の参加を促す
6. 幅広い支援・協力を求める
7. 継続的な学びの機会をつくる
8. 国立公園の新しい利用形態を創り出す
9. 来訪者へのサービスを改善する
10. 人・施設・地域のネットワークをつくる



子供レンジャーの活動(細岡展望台)



地元ベンチャー企業や高校との協働による水質浄化試験

市民参加による広葉樹の植林(達古武)



これまでの調査、検討結果

○釧路湿原 21 世紀の道ウォーキング 釧路湿原散策会



実施日時：2003年9月21日
実施場所：釧路湿原右岸堤防付近（安原新釧路大橋～温根内ビジターセンター）
旧鶴居軌道（温根内ビジターセンター～北斗）



当日は、天候にも恵まれ、新聞発表等による公募で集まった参加者が湿原でのウォーキングを楽しみました。

参加者の層も幅広く、4才から70代まで、お一人での参加から、家族連れ、アベック、グループでの参加など、思い思いの楽しみ方をしました。

参加人数：136名
ガイドスタッフ：6名
ボランティアスタッフ：10名
運営スタッフ：10名

散策距離：24km コース(102名完歩)



昼食を各自思い思いの場所で食べたり、温根内の中継地点では、ザリガニ釣りのアトラクションも楽しみました。

釧路湿原の背景に聳える阿寒の山々という絶景を満喫。タンチョウやアオサギ、ミンクなどの動物達との遭遇。参加者同志のコミュニケーションを楽しみながらのウォーキングは、事故もなく、参加した方々に満足していただくことができました。

所要時間：6時間30分

最初の到着者は、24kmをなんと3時間15分でゴールしました。



「来年はやらないの？」という参加者からのリクエストも多く、検討のための材料として参加者へ参加賞とアンケートを郵送しました。

運営：釧路湿原 21 世紀の道実行委員会

平成 15 年度実施(検討)内容

- 釧路湿原川レンジャーなどによる調査と管理の市民参加
 - ・ 釧路湿原川レンジャー活動、ボランティアレンジャー活動等の継続
 - ・ NPOによる鳥類調査
- 自然再生や河川清掃等のボランティア活動に市民が参加できる仕組みづくり
 - ・ 市民参加、環境教育等の推進に関する提言
 - ・ 達古武地区の森林再生
- 湿原の調査と管理に関する情報の共有化
 - ・ 共用データベースの情報収集(環境省、釧路市)